

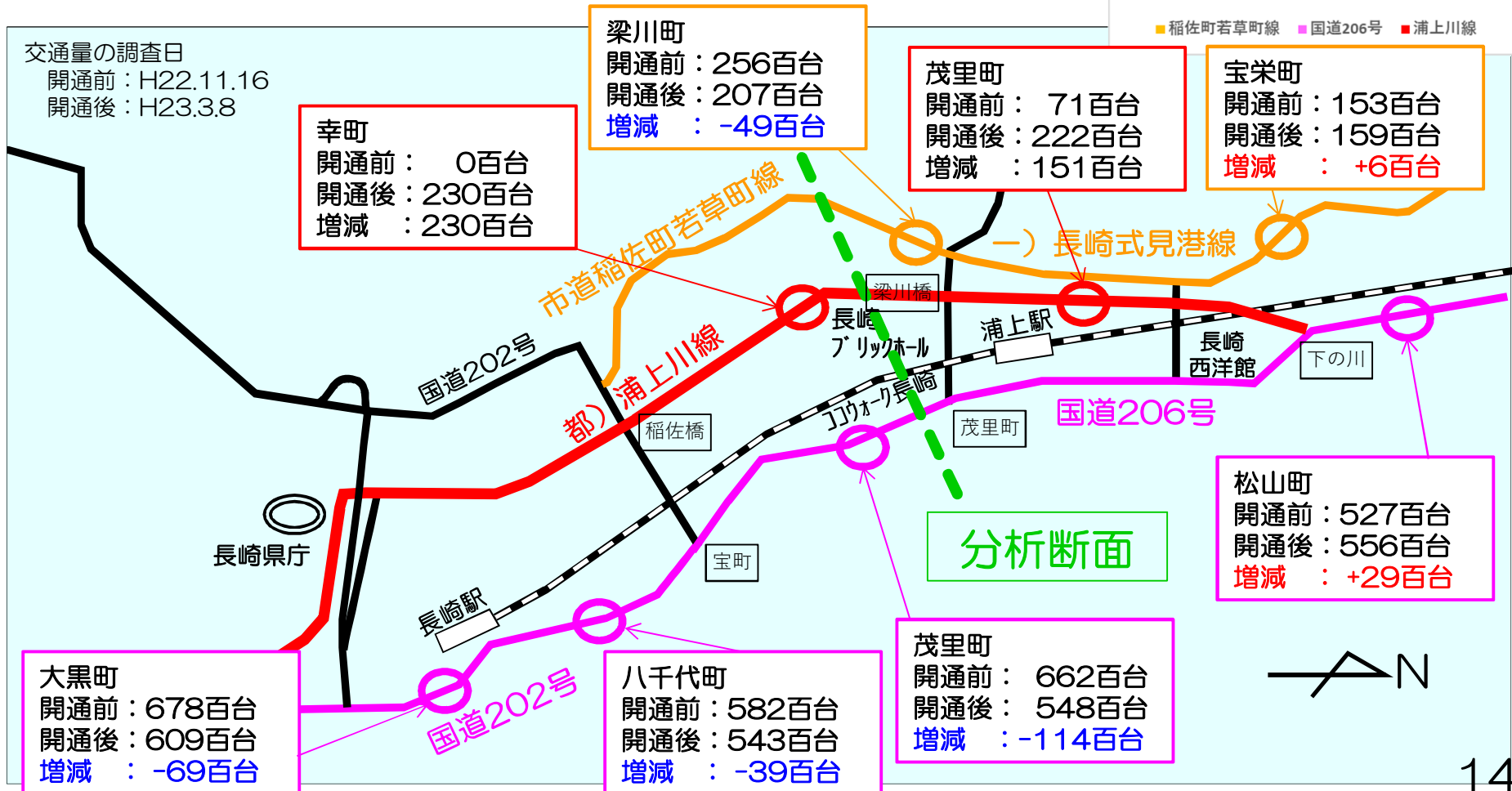
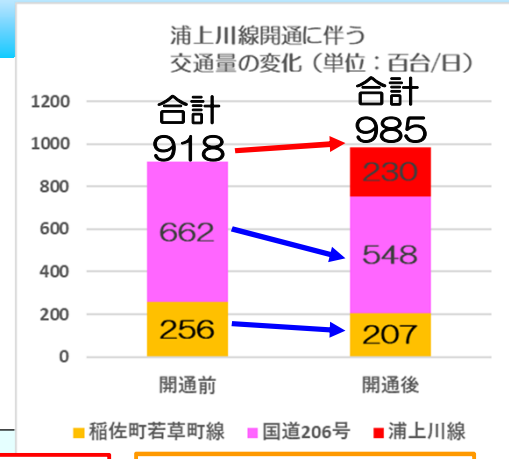
目次

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 長崎南北幹線道路の概要 | P3 |
| 2. 一般国道206号の現状 | P7 |
| <u>3. 長崎南北幹線道路の必要性と整備効果</u> | <u>P14</u> |
| 4. 長崎南北幹線道路のルート選定 | P23 |

3. 長崎南北幹線道路の必要性と整備効果

○都市計画道路 浦上川線 (H22.11開通)

- 並行する一般国道202号、206号、市道の交通量は開通後には減少した。
- 浦上川線より北側では、一般国道206号、県道とも交通量が増加した。



3. 長崎南北幹線道路の必要性と整備効果

- 長崎都市圏と佐世保都市圏など
広域的な高速ネットワークの形成が必要。
- 一般国道206号の交通渋滞緩和の抜本的な対策が必要。

○その他の必要性

- 交流人口の拡大による地域の活性化
- 世界遺産等の観光資源への交通アクセスや周遊性の向上等による観光振興
- 企業連携での生産性向上等による産業振興
- 災害に強い規格の高い道路による緊急輸送体制の強化や、災害・事故時における複数経路の確保
- 並行する道路の混雑緩和



3. 長崎南北幹線道路の必要性と整備効果

○長崎南北幹線道路の整備効果

整備効果	具体的な内容
高速移動の確保	所要時間の短縮
救急搬送体制の向上	所要時間の短縮
災害・事故時の代替道路の確保	複数経路（ダブルネットワーク）の確保 ※災害時の緊急輸送道路等

○その他の道路（国道206号など）への整備効果

整備効果	具体的な内容
交通渋滞の緩和	旅行速度の改善
公共交通の利便性向上	旅行速度の改善、路線バスの定時性向上
救急搬送体制の向上	所要時間の短縮
沿道環境の改善	渋滞緩和による排出ガス低減など

3. 長崎南北幹線道路の必要性と整備効果

◎高速移動の確保

- 旅行速度が60km/h以上を満足する道路の整備により、**所要時間が、現在の道路を利用するより短縮する。**

長崎市⇔佐世保市 1時間圏内の実現

長崎市⇔佐世保市の所要時間

	西彼杵半島経由	西九州道経由
H23末	93分	76分
現在	89分	76分
完成時	54分	76分

長崎南北幹線道路、西彼杵道路の整備により達成



凡例	
供用中	——
事業中	- - - -
計画路線	□□ □□

3. 長崎南北幹線道路の必要性と整備効果

◎救急搬送体制の向上

- 長崎南北幹線道路の利用により、二次・三次救急医療施設への救急搬送の所要時間が短縮
- アクセス性の向上で、医療施設間の連携が強化され、緊急医療体制の充実による安全で安心な生活の確保



交通渋滞の中、車両の間を縫って救急搬送している救急車両



3. 長崎南北幹線道路の必要性と整備効果

◎災害や事故時の代替道路の確保

- ・長崎都市圏の主要な交通軸である一般国道206号が事故や災害で寸断された場合に備え、**複数経路（ダブルネットワーク）を確保**



大雨による被災状況



水道管破損事故復旧状況

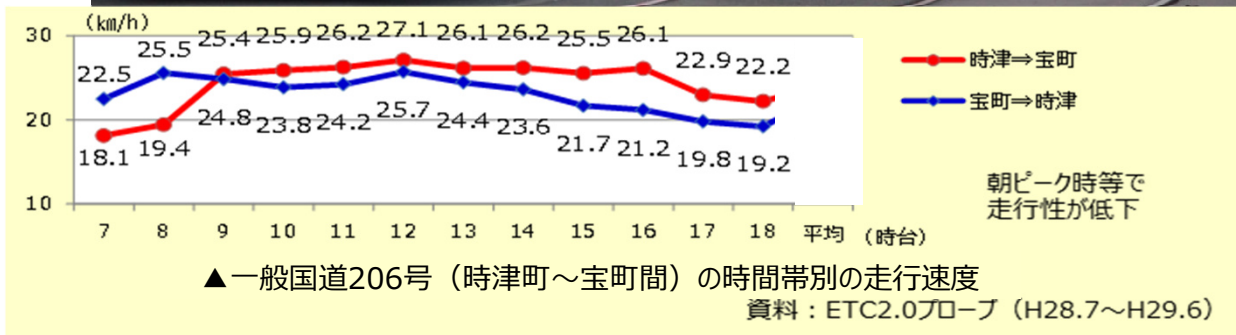
3. 長崎南北幹線道路の必要性と整備効果

○交通渋滞の緩和

- 国道の朝夕ピーク時の旅行速度の改善により通勤・通学時間が短縮

○公共交通の利便性向上

- 路線バスの定時性を確保し、公共交通の利用を促進
- 長崎南北幹線道路へのバスの乗り入れなど、新規路線運行の可能性



- 日常的に路線バスの運行の遅れが発生

- 国道206号には交通が集中し、朝夕に交通渋滞が発生
- 時間帯別の旅行速度は、18.1～27.1km (平均で23.6km)

3. 長崎南北幹線道路の必要性と整備効果

○沿道環境の改善

- 一般国道206号の渋滞緩和によって排出ガスが低減され、沿道環境が改善される。



朝夕の交通渋滞等による排出ガスや騒音が、沿道環境の悪化の一因となっている